

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0827
施設名	松江おひさま保育園
施設所在地	東京都江戸川区松江1-10-5
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・生き物(熱帯魚やクワガタの飼育)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

戸外活動の際に生き物との触れ合いや観察を楽しむ児が多かった。生き物への興味関心を生かし身近な生き物を飼う事で、命との関わり方やお世話の仕方を学び、友だちや保育士とイメージや気づきを共有して他者との関わりを深めていけるように設定した。

2. 活動スケジュール

第一回ヒラタクワガタの飼育開始
第二回ヒラタクワガタのペア飼育開始
第三回ヒラタクワガタの繁殖
第四回ヒラタクワガタの産卵
第五回熱帯魚の飼育開始
第六回熱帯魚の繁殖
第七回熱帯魚の模写

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

クワガタの飼育ケースの用意。熱帯魚の飼育の為に水槽を用意。
小さいケースを用意し、保育室内で各机ごとに近くで観察できるようにした。
また、子どもたちがどんな種類の魚がいてどんな名前なのかを知れるように、水槽の側にイラストと名前、生態についての説明を掲示した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

自由遊びの時間など好きな時に観察を楽しめるようにした。
熱帯魚では当番活動として餌やりを取り入れたり、水槽の掃除や水槽内の水草などの設置を一緒に行う事で、クラス全体で熱帯魚の命を大切に育てる。小さな水槽に移してより近くで観察を行う。
カブトムシの飼育も餌の交換や水やりなど行う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
積極的にお世話をしたり、観察を通して種類や色、大きさの違いに気が付いて友だちと共有する様子が見られた。昆虫類に関しては苦手な児も多かったが、見ていくうちに慣れたり、友だちや保育者が触れ合う姿を見て、触ったりしてみようとする姿があった。
死んでしまったカブトムシや熱帯魚など見て涙を流すなど悲しむ姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

生き物の飼育を行っていく中で、産まれてくる命や亡くなってしまう命があることを、子ども自身が身近に実感する事ができた。生き物が成長していく喜びや、お世話をしていく中で感じた飼育の難しさを体験する事ができ、すくわくを通して様々な生き物の生態に興味を持つことができていることに気付けた。